コースコード：RH-RH134
税込価格：346,500円 (税抜価格：315,000円)
日数：5日間

ここに注目!!

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

現在のスキルの補強または他のチームメンバーの支援に関心がある Windows システム管理者、ネットワーク管理者、その他のシステム管理者、および同様の業務を担当する Linux システム管理者向けです。
・確立された標準と手順を使用した、Linux システムの設定、インストール、アップグレード、保守
・運用面でのサポートの実施
・システム管理によるシステムパフォーマンスと可用性の監視
・タスク自動化とシステム管理のためのスクリプトの作成とデプロイ

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

・Red Hat システム管理 I (RH124) を修了していることを推奨します。
・短期間で Red Hat 認定システム管理者の取得を目指す熟練した Linux 管理者には、RHCSA 速習コース (RH199) をお勧めします。
・無料のスキルチェック(Red Hat Skills Assessment
)でこのコースが自分のスキルに適切かどうかを確認してください。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

このトレーニングでは、チームメンバーに Linux システム管理の強固な基盤を根付かせ、インフラストラクチャを効率的に管理する能力を強化します。これにより、システムの信頼性が高まり、システムとストレージの利用効率が向上し、システム障害への応答が迅速で正確になります。これは、Linux の予備知識が少ないコンピュータ・プロフェッショナルを有能な Linux 管理者に育成することを目的とした、2 部構成のシリーズの2コース目です。

このトレーニングを受講すると、専任の Linux 管理者となるために必要な主要タスクを実行できるようになります。受講者は、LVM を使用したストレージ管理、SELinux 管理、およびインストール自動化など、管理作業についてのより高度なトピックを学習できます。ファイルシステムとパーティショニング、論理ボリューム、SELinux、ファイアウォール設定、トラブルシューティングなど、企業レベルでの Linux 管理について詳しく学びます。

アウトライン

コマンドラインの生産性の向上

Bash シェル、シェルスクリプト、および Red Hat Enterprise Linux が提供する各種のユーティリティの高度な機能を使用して、コマンド実行の効率性を向上させます。

将来のタスクのスケジュール

将来 1 回のみ、または繰り返して実行するコマンドをスケジュールします。

ログの分析と保存

トラブルシューティングのために、システムイベントログを検索して正しく解釈します。

ファイルのアーカイブと転送

異なるシステム間でファイルのアーカイブとコピーを実行します。

システムパフォーマンスのチューニング

チューニング・パラメーターを設定し、プロセスのスケジュールの優先度を調整して、システムパフォーマンスを向上させます。

SELinux セキュリティの管理

SELinux を使用してサーバーのセキュリティを保護して管理します。

論理ボリュームの管理

コマンドラインからファイルシステムを含む論理ボリュームを作成して管理し、スペースをスワップします。

ネットワークアタッチトストレージへのアクセス

NFS プロトコルでネットワークアタッチトストレージにアクセスします。

ブートプロセスの制御

ブートプロセスを管理して、提供されたサービスを制御し、問題をトラブルシューティングして修復します。

ネットワークセキュリティの管理

システムファイアウォールと SELinux
ルールを使用して、サービスへのネットワーク接続を制御します。

Red Hat Enterprise Linux のインストール

Red Hat Enterprise Linux
をサーバーおよび仮想マシンにインストールします。

コンテナの実行

シンプルで軽量なサービスを単一の Red Hat Enterprise Linux
サーバー上のコンテナとして取得、実行、管理します。